

# しみんけんきゅうニュース

発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3  
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

## R8年度 市民研究所 委嘱状交付式 2026 4/11

### 令和8年度 市民研究員各チーム活動計画

#### 【市民とお店をエコでつなぐ】

- 「食品ロス削減」「プラごみ削減(トレー・ボトル)」を継続研究する
- ①プラ資源循環促進法施行後の行政スーパーの取組状況
- ②新聞等に掲載されている食品ロスプラごみの記事を収集し動向への理解
- ③食品工場見学と内容をニュースブログ等に発信する
- ④「食品ロスすごろく」「プラごみすごろく」を通じ子供たちに

#### 【吹田ごみゼロシステム研究】

- ごみゼロ(するをなくす)へのシステム研究
- ①産業廃棄物・処分現状の把握
- ②包装資材削減にむけて
- ③落ち葉竹チップの活用
- ④プラに関してPTと協働

#### 【身近な環境を調べよう】

- 市内の環境を調べ啓発。寺社公園往路の調査(R8-10)
- ①3年計画で調査 目標寺社20,公園30,往路路樹4箇所
- ②チェックシートを作成する(面積,樹木数,樹高,鳥類等)
- ③写真動画
- ④過去調査のため池の冊子作成
- ⑤情報発信,出前講座,クラブ支援,環境スクール

#### 【SDGs啓発】

- カードゲームを通じて啓発
- ①4校8回の環境出前講座(クラブ支援) アンケートから改良
- ②過去13他団体に参加 その知見を活かす
- ③大人に対しても働きかけを検討

#### 【手作りおもちゃ】

- 廃品利用のおもちゃを通じてごみ環境啓発
- ①今年度も昨年並みの活動 メンバーの増員
- ②新作を検討 ③おもちゃ作りのマニュアル

#### 【紙すき体験と環境】

- 牛乳パックで紙すき体験し紙リサイクルの啓発
- ①今年度も昨年並みの活動
- ②説明内容の改定役割分担 ③アンケートの実施

#### 【マイ食器啓発】

- 器持参普及
- ①マイ食器啓発とリユース食器貸出事業も推進
- ②マイ食器マップの吹田版の調査
- ③イベントでの使用



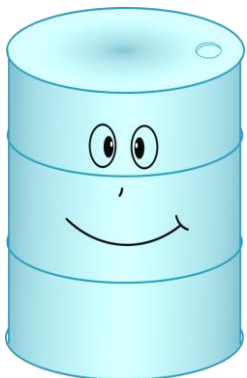
### 【目次】

- P2 環境フェスタ・委嘱状
- P3 定例会活動報告
- P4-5 特集 SDGs 啓発 PT
- P6 研究所長挨拶
- P7 事務局新規職員紹介
- P8 5・6・7 月行事予定

2026/04/11



新人を含め  
43名体制  
で開始



現在、石油の供給環境の変化により、ナフサ不足が生じる可能性があります。  
ナフサは多くの石油製品の原料であるため、供給状況によっては身近な製品にも影響が出ることが考えられます。  
そのため、今後は不要不急の石油製品の利用を控えるなど、行動の見直しが求められます。



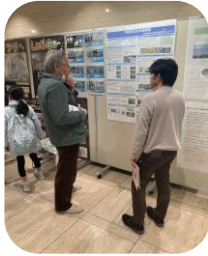
# TOPICS

## すいた環境教育フェスタ

2月7日（土）10：30～15：00までメイシアターで行われ、約800人が来られました。私たちのブースでは、木工工房で作られた玩具があり、多くの若い家族連れが訪れていました。

私たち市民とお店をエコでつなぐPTは、「プラスチックごみと容器（トレイ）回収促進」のポスターセッションを行い、身近な環境を調べようPTもポスターセッションを行っていました。

子どもさんがおもちゃで遊んでいる合間に、お母さんや男性の方にも容器回収のお話をさせていただいたので、環境に関心を持っていただける方が増えることを期待しています。



市民研究員 打越 明美



## 令和8年度 市民研究所委嘱状交付式

令和8年4月11日（土）午後1時より、くるくるプラザ講義室で市民研究員委嘱式が行われました。

本年は第2週開催となったことから、桜も葉桜となっていました。桜吹雪の中、43名（うち、新市民研究員2名）の市民研究員が委嘱されました。三輪研究所長初め6名の主担研究員と共に指定管理を締めくくる令和8年度を、プロジェクトチーム4チーム、アクションチーム3チームという構成で様々な活動をチーム一丸となって取り組んでいきます。

交付式終了後、恒例の集合写真を葉桜ではありますが青空の下、にこやかに撮影を行いました。

マイ食器AT担当 天野 美晴



## プロジェクトチーム (PT)・アクションチーム (AT) 活動報告

### 市民とお店をエコでつなぐ PT

定例会では、研究報告書に載せる個人研究の内容について確認を行いました。それぞれの研究内容について、意見交換を行い、新しい発見もありました。

また、今年度は「ごみの12種分別」に紙ごみ(雑紙)を盛り込んだ内容のプログラムの作成を進める予定です。 [活動紹介のブログを始めました。→](#)



### 吹田ごみゼロシステム研究 PT

研究報告書第33巻の報告内容について話し合いました。その他、「竹林の整備に携わる～竹処理で出た竹チップを雑草対策で公園に捲く～」のブログ内容について、写真の説明を補足してブログに掲載しました。ご覧ください！



### 身近な環境を調べよう PT

ため池冊子については、ポスターセッションの図を基に検討しています。また、プランクトンのパンフは、A4にまとめています。緑地調査チェックシートについては、原案を基に伊射那岐神社で試験的に実施し、検討することにしました。なお、野鳥観察の研修については、万博公園で定期的(毎月第2土曜日)に実施されている「万博公園探鳥会」に参加します。



### SDGs 啓発 PT

新年度を迎え、気持ちも新たにスタートします。本年は午年にちなみ、前へ前へと力強く歩みを進めてまいりたいと考えております。また、今回のしみんけんきゅうニュースの特集ではSDGs 啓発 PT の関ともえが記事を執筆しておりますので、ぜひご一読ください。

### 手作りおもちゃと環境 AT

定例会の時におもちゃの実習を行います。以下の内容からメンバーでやったことないおもちゃを選んで実習します。レーシングカー②2連風車③UFO ブンブンごま④サイコロキューブ⑤ビックリ箱⑥マジックカード⑦水車ボート⑧マスカレードマスク⑨万華鏡

### 紙すき体験と環境 AT

出前講座説明用のパワーポイントの内容を検討しています。新メンバーも増え、活気のある紙すきチームで力を合わせて頑張りたいと思っています。

### マイ食器啓発 AT

3月定例会において、マイ食器啓発等のマップの作成について話し合いました。JR吹田の朝日通り商店街での聞き取りを年数回行い、その聞き取り内容について打ち合わせを行いました。

# 生命の源『水』

市民研究員 関ともえ

## 1. 水の惑星「地球」の奇跡の誕生と危機

地球に海が出現したのは約40億年前です。水が循環することで、40億年の間に多種多様な生命の進化と滅亡が繰り返され、人類も出現しました。



ところが、約200年前からの人間の産業活動が生命の源である『水の循環』に異変を生じさせ、生物の多様性に大きな影響が出ています。地球温暖化による気温上昇で、グリーンランドなどの氷が溶け海面が上昇し、海拔の低い地域では、海水が地下水に入り込んで飲めない被害も出ています。また海水温の上昇により、21世紀に入ってから洪水の発生件数も被害も甚大になっています。

水害は人間の開発による森林の伐採などが被害を拡大させている側面もあります。

## 2. 水資源の状況

「水の惑星」と言われる地球ですが、地球上の水量約14億 $\text{km}^3$ の約97.5%が海水で、私達が実際に生活に利用しやすい水は、全体のわずか0.01%ほどです。これは、地球全体の水がお風呂1杯(200L)だとすると、人間が使える水は大さじ1杯強ほど(20ml)この限られた水で約82億人の人々が暮らしています。さらに世界規模で人口は年々増加し、水不足や枯渇が様々な地域で重大化しています。

では、日本の水資源量はどうでしょうか？

雨が多く、年間降水量は約1690mm、世界平均約810mmのおよそ2倍もあり、豊富な水資源のように感じますが、狭い国土に地形も急

勾配で降水が急速に海へ流出し少雨の年はしばしば渇水状態となります。人口一人当たりの年降水量を算出すると日本は約5,000 $\text{m}^3$ となり世界平均(約16,400 $\text{m}^3$ )の約3分の1です。

水のインフラが整備されているおかげで、蛇口をひねれば安全で安価な水が飲めるので、実感しづらいのかもしれませんが。

次に、日本の水の使用量は、一人当たりの1日の平均生活用水使用量は2022年度282Lでした。(国土交通省データ)2Lペットボトル約140本分も毎日使っているのです。先進諸国では平均100~200L程度で、途上国では100L未満の地域もあります。日本の水資源量は平均以下ですが、使用量は多いです。水洗トイレの普及も増加原因です。

なお、「生活用水」とは、「家庭用水」お風呂やトイレ、調理など家庭で使用される水と「都市活動用水」飲食店やオフィス、ホテルなどで使用される水を合わせたものです。

家庭用水の用途の内訳は、お風呂、水洗トイレ、洗濯や炊事などを合わせて約94%を洗浄用に使用し、飲料用は数%なのです。(東京都水道局データ)世界には深刻な水不足で苦しむ人達もいる中、使い方に課題を感じます。

## 3. バーチャルウォーター

日本は他にも使っている水があります。

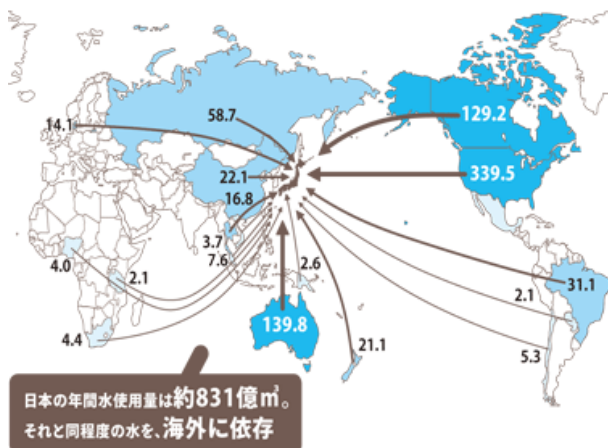
それは、輸入食料の生産に使用される膨大な「隠れた水」です。仮想水(バーチャルウォーター)と呼ばれ、食料を輸入している国(消費国)において、もしその輸入食糧を生産するとしたら、どの程度の水が必要か推定し表したものです。食糧の生産及び家畜の飼料の生産それに関わる工業製品の加工、洗浄にかかる水量なども含まれます。

日本の食料自給率は摂取カロリーを基準として2000年代に入ってから40%前後で推移しており、先進国の中で最低水準です。必然的にバーチャルウォーターの量も増えます。

(参考：2022年数値 オーストラリア 247%、カナダ 177%、フランス 118%、アメリカ 101%、イギリス 59% 農林水産省データ)

日本のバーチャルウォーターは年間約800億 $m^3$ と膨大で、この数字は国内の年間水使用量とほぼ同じです。日本は自国の水を大量に使わずに、他国の水を消費しているとも言えます。本来ならば日本はもっと水の需給バランスが逼迫しているはずであり、私達は世界的な水不足の問題や水環境に対してもっと高い関心を持つべきではないでしょうか。

#### ●日本のバーチャルウォーター輸入量(単位:億 $m^3$ /年)



※環境省 2010年環境・循環型社会・生物多様性より(同省によれば、その後更新は行われていない)  
例えば1kgの牛肉を生産するためには約15,000Lの水(ウォーターフットプリント(後述))が必要になるというデータがあります。1kgの牛肉を輸入することは15,000Lの水を輸入することと同義と捉えます。特に水不足地域からの大量の輸入は、水不足に拍車をかけることにつながります。また牛を日本で育てたとしても大半の飼料は輸入に頼っているため、結局は大量のバーチャルウォーターを輸入しているのです。

さらに食料品に限らず衣服の生産工程などでも水が使われます。

製品の生産から廃棄までの全工程にどれだけの水が使われるかを示す指標に「ウォーターフットプリント」があります。どのような手法で製品を生産するかで水の使用量は変わるため、現在多くの世界的企業が水質保全の指針として、ウォーターフットプリントに着目し、水の使い方の見直しに役立てています。

水環境の悪化は生物多様性が失われることにつながります。過剰な取水、水質汚染など見直すべき課題は山積んでいます。限られた水を大切に活用し続けるために今私達ができることは何でしょうか？

#### 4.まとめ

今私たちの暮らしは地球の本来持つ「自然にきれいになる力」を超えた資源を必要としており、さらに環境破壊は今この時も続いています。

今まさに地球からSOSが出ています。淡水の不足、気象の激変、生態系の変動など様々な臨界点が近づいています。

多くの企業が環境の観点から事業の見直しに取り組んでいます。私達がより環境負荷に考慮した製品の選択も大きな一歩になります。

家庭では水の使い方を見直しませんか？お風呂、トイレ、洗面所、台所で、限りある水資源を大切にするために、節水や繰り返し使うことを意識することから始めませんか？

今回『水』をテーマに書くにあたり以下の文献を参考にしましたが、日常生活のヒントになる内容も多く取り上げられています。まずは知る事から始めて皆さんで考え続けていく事の大切さを感じました。

#### 参考文献

- \* 図解でわかる14歳からの水と環境問題 著者インフォビジュアル研究所
- \* TOTO  
<https://jp.toto.com/company/sustainability/materialities/environment/>
- \* サントリー水大事典  
<https://www.suntory.co.jp/eco/teigen/water/jiten/>
- \* WWF 水の視点
- \* 政府広報オンライン 水の循環  
他に環境省、国土交通省、農林水産省各HP

# 真剣に急いで考えたい未来のこと

市民研究所長 三輪信哉

## 1 はじめに

いつも市民研究や出前講座にお取り組みいただき、誠にありがとうございます。「鳥の目」で全体を見渡ししながら、「虫の目」で足元から環境を見直し、どのようにすれば環境に優しい行動へ、さらに地域や社会の変革へとつなげていけるのか、研究員の皆様とともに、研究所としてさらに前進していきたいと願っております。

## 2 鳥の目と虫の目

「鳥の目」と申しますと、アメリカとイランの間の緊張や紛争を通じて、どこか遠い出来事のように感じていました。しかし、石油の供給不安が現実味を帯び、かつての石油危機の際に整備された備蓄基地からの石油放出が検討されるなど、エネルギー問題が私たちの経済や生活と直結していることを次第に実感するようになってきました。「鳥の目」レベル、あるいは宇宙衛星の視点から見れば、エネルギーの多様化や産出国の分散化など、さらに議論が進んでいくことでしょう。国際交渉とともに、国内ではエネルギー自給を目指す動きも一層強まると考えられます。このように、「鳥の目」で捉え、「虫の目」で解決を図ることも重要です。

## 3 ミニマリズム

話は変わりますが、先日、映画『今求められるミニマリズム』(53分、米、2021年)を観ました。これは2010年頃から提唱されている思想です。登場人物のジョシュアとライアンは貧しい家庭に生まれ、豊かな生活を求めて努力し、経済的には成功を収めました。しかし、「より多くの素敵なものを手に入れることが幸せな生活だ」と考え、週80時間働いても満たされない日々を送っていました。さらに、AIが個々の欲求を分析し、次々と購買意欲を刺激する広告を表示し続けます。カード決済により欲しいものはすぐに届き、気づけば家の中は物であふれています。ふと立ち止まると、家族や友人、地域の人々と語らう時間すら失われていました。やがて彼らは目覚め、本当に必要なものだけで生きる決断をします。その結果、働く時間は減

り、選び抜かれた物を大切に生活の中で、人間らしい時間が増えていきます。そうした思想の実践が印象的に描かれた映画でした。

## 4 GDP 増大の追求の果て

東京では高額マンションが飛ぶように売れ、結婚したばかりの若い夫婦が共働きで1億円近い住宅ローン(50年)を組むといったニュースも耳にします。日本のGDPは世界5位、1人当たりでは38位(2025年)といわれています。例えば、専業主婦(夫)が共働きになり、家事や育児、親の介護までも外部サービスに委ねれば、その分GDPは確実に増加します。また、好きな時に好きなものがすぐ手に入る、物にあふれた生活もGDPの拡大を力強く後押しする生き方といえるでしょう。ただ、禅僧のように最小限の持ち物だけで生活するというのも、現実的ではありません。

## 5 子どもから叱られないように

2府4県169市町村の一般廃棄物・産業廃棄物を埋め立て処分している大阪湾広域臨海環境整備センターは、現在使用中の神戸沖埋立処分場について、次期(2031~2050年)の事業では新たな埋立地を造成する従来方針を撤回し、既存処分場の上部に積み上げる方法へ転換すると発表しました(1)。20年後にそこが満杯になったとき、次はどうするのでしょうか。

吹田市の小学4年生にもぜひ知ってほしい問題ですが、彼らが将来親になる頃、「なぜ当時の大人たちは、この問題を知りながら解決してくれなかったのか」と問われないようにする必要があります。そのためには、今を生きる私たち一人ひとりが、日々の生活や企業活動の中で未来を見据え、具体的な答えを出していくことが強く求められているのではないのでしょうか。

(文献1)神戸新聞「大阪湾フェニックス計画、神戸沖の追加埋め立て撤回：現処分場で廃棄物積み上げへ工事費高騰など考慮」2025/12/25(2025年3月1日閲覧)

# 市民研究所通信

## 人と環境を繋ぐ架け橋

事務職員 清水厚彦

このたび、千里リサイクルプラザに事務職員として勤務することになりました 清水 厚彦（しみず あつひこ）と申します。長年の教育現場での経験を活かしながら、新たな気持ちで頑張っています。

さて、近年、私たちの生活はとても便利になりました。欲しいものはすぐに手に入り、情報も簡単に得ることができます。しかしその一方で、未来を担う子どもたちから「面倒くさい」「どうせやっても無駄」といった言葉を耳にする機会が増えているように感じます。環境問題に対しても同じように、どこか他人事として捉えられてしまう場面があるのではないのでしょうか。でも、それは本心なのではないのでしょうか。私はそうではないと思っています。子どもたちは本来、とても好奇心が強く、心が動く体験に出会えば、自ら進んで行動する力を持っています。例えば、実際にリサイクルの現場を見て、自分たちにもできることを考え、やってみることで、「楽しい！」「次は、こんなことや

てみたい」という前向きな気持ちが生まれます。本物に触れることで、環境問題は遠いものではなく、自分自身に関わる身近な課題へと変わっていくのです。千里リサイクルプラザは、そうした“本物に触れる機会”を提供できる大切な場所だと感じています。見て、知って、体験することで、環境について考えるきっかけをつくる。そしてその小さな気づきが、一人ひとりの行動の変化につながり、やがて大きな力になっていくと信じています。

市民研究員の皆様や来館される方々との関わりを大切にしながら、人と環境を繋ぐ架け橋としてこの施設の役割を支えていきたいと考えております。そして、ここでの経験や発信が、誰かの「やってみたい」という気持ちにつながるよう、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



# くるくるプラザ 市民研究所 予定表



休館日 5月  
3日・4日・5日・11日・18日・25日



5月9日	土	市民研究所代表者会議
5月17日	日	おもちゃ病院
5月22日	金	研究運営委員会
5月23日	土	くるくるサロン「気候危機・再生可能エネルギーについて」柏原誠氏(大経大准教授)



休館日 6月  
1日・8日・15日・22日・29日



6月7日	日	くるくるアイデアコンテスト
6月13日	土	市民研究所代表者会議
6月16日	火	自転車抽選日
6月20日	土	くるくる環境スクール①開校式
6月21日	日	おもちゃ病院
6月28日	日	くるくる環境フォーラム / くるくる環境スクール②



休館日 7月  
6日・13日・20日・21日・27日



7月11日	土	市民研究所代表者会議
7月18日	土	くるくる環境スクール③ (SDGs啓発PT)
7月19日	日	おもちゃ病院
7月24日	金	研究運営委員会
7月25日	日	くるくるキッズ環境スクール開校式①(紙すき体験と環境AT/手作りおもちゃと環境AT)